

研究専攻（専門領域）		文化構造研究専攻（社会学）		学籍番号	06CS032
氏名	李 振鎬	ローマ字	LI Zhengao	国籍 (留学生)	中国
修士学位論文名	中国朝鮮族のエスニシティの変容について — 延辺朝鮮族を中心に —				
提出年月日	2009年1月13日		指導教員	深澤 建次	
体裁 (論文)	55頁 (1頁文字数 1440字)		言語	日本語	
別冊添付資料等					
キーワード	延辺朝鮮族 マイノリティ エスニシティ アイデンティティ				
<p>経済的、政治的、文化的な距離の圧縮過程とも言うべきグローバル化のプロセスは、中国における少数民族政策の下で生成、発展してきた「朝鮮族」さえも、エスニック・アイデンティティの稀薄化を招いている。延辺朝鮮族自治州という地域において、ある意味ではマジョリティであった朝鮮族が今は完全にマイノリティになってしまった。延辺には、このような状況を危惧する声と、それでもなお豊かさを求めて躍進する動きが混在している。彼らが直面している急激な時代の変化は、温度差こそあるにせよ、世界の至る所でさまざまな人々が経験しているに違いない。</p> <p>本稿では統計資料、アンケート調査、インタビューなどさまざまな資料を活用して延辺朝鮮族のエスニシティに関する考察を行っている。延辺朝鮮族が直面している問題として次のようなことが挙げられる。</p> <p>① 延辺朝鮮族自治州における朝鮮族人口の減少及び朝鮮族人口成長率のマイナス成長率。                  ② 人口減少に伴って朝鮮族学校の学生数の減少及び朝鮮族学校の衰退。したがって、漢族学校に通う学生数の増加による民族教育の危機である。                  ③ 韓国を始めとする国際結婚と漢族との通婚の増加。特に近年漢族と結婚する朝鮮族の増加が顕著になっている。</p> <p>本稿では延辺朝鮮族が直面している以上のような問題点を中心に論文を展開している。言語の二重性と文化の二重性を併せ持つ延辺朝鮮族はマジョリティである漢族と同じ民族である韓国人に親しみを感じていると同時に、漢族とも韓国人とも違うという意識を持っている。一時は「韓国ブーム」で始まった「コリアン・ドリーム」で延辺朝鮮族は韓国と運命共同体として自己同一感を感じていた。だが、「コリアン・ドリーム」の破滅と共に中国朝鮮族というアイデンティティが強くなった。だと言って漢族と完全に連帯感を持っていることではない。それで、延辺朝鮮族はあらゆる同化の流れの中で試行錯誤しながら自民族の特性を維持し、それを活かしながら中国社会及び国際社会での地位を定めようとしている。</p> <p>延辺朝鮮族にとってもっとも大きな課題としては言語の二重性及び文化の二重性のバランスをいかにによりよく取るかにあるだろう。これは今後の延辺朝鮮族のエスニシティの変化に大きな影響を与えることになるだろう。</p>					